

令和5年度

入学者選抜に 関する要項

2023

金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

令和5年度入学者選抜に関する要項

1. 大学憲章と活動指針	1
2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
3. 卒業後の資格	3
4. 学部・学科・専攻及び入学定員・募集人員	4
5. 一般選抜（公立大学中期日程）	
(1) 選考日程	5
(2) 出願資格	5
(3) 大学入学共通テスト	6
(4) 実技検査等	7
(5) 配点	8
6. 学校推薦型選抜	
(1) 出願要件	9
(2) 選考方法	10
(3) 配点	11
7. 身体に障がいのある入学志願者との事前相談	11
8. 学生募集要項の発表等	11
9. その他	11

令和5年度入学者選抜に関する要項

1. 大学憲章と活動指針

大学憲章 Mission Statement

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

活動指針 Mission Policies

＜創作の意欲と能力を育てる教育の推進＞ Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

＜質の高い研究とオリジナリティの追求＞ Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

＜地域と世界に貢献する芸術活動の展開＞ Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

＜自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展＞ Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

金沢美術工芸大学は、工芸美術の継承発展と地域の文化と産業の振興に寄与すべく 1946 年に創立されました。以来、個性豊かな教育・研究活動に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担いつつ、美術・工芸・デザイン界で活躍する数多くの人材を輩出してきました。

金沢美術工芸大学は、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」（大学憲章）を育成することを社会から負託された使命であると考え、次の 3 つの教育目標を掲げています。

1. 地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。
2. 深く芸術の神髄を探究し、美術・工芸・デザイン分野における卓越した知識と技術を継承することによって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化を担う人材の育成を目指す。
3. 市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核として、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する人材の育成を目指す。

このような教育目標に共鳴し、美術・工芸・デザイン分野における知識と技術の担い手となる意欲と資質を備え、積極的に勉学に取り組む主体性のある人を金沢美術工芸大学は求めています。

入学を希望する諸君に金沢美術工芸大学が望むのは、デッサン等の実技能力を養っておくことに加え、高等学校までの各教科・科目をできる限りしっかりと修得しておくことです。広い視野と基礎的な学力があつてはじめて、自らの問題意識を掘り下げて、より高度な制作・研究に進むことが可能になります。一般選抜試験では、すべての専攻が大学入学共通テストにおいて「国語」及び「外国語」を必須の試験科目として課しています。入学後の授業では、制作課題のプレゼンテーションやレポートなど、言語による表現が要求されます。また、筋道立てて読みとる読解力はあらゆる学問・情報に接近するために不可欠な基礎的能力だと考えます。

金沢美術工芸大学では、各専攻がその理念と教育方針に応じて、入学者選抜試験における教科・科目及び実技、小論文、面接等の要件を設定し、明確な目的意識をもった人の入学を求めて「求める学生像」を公表しています。また、美術科芸術学専攻、デザイン科インダストリアルデザイン専攻及び工芸科では学校推薦型選抜を実施しています。

学修に必要な技能と基礎的な学力を備え、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」を目指して勉学に励むことができる人を金沢美術工芸大学は広く求めます。

美術科

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの美術分野で活躍し、貢献する人材の育成を目指しています。

このことから、美術科では次のような人を求めます。

日本画専攻

- ・ 絵画に関する基礎的な描写・表現力や観察力並びに知識を有する人
- ・ 芸術について強い興味と意欲が有り、将来広く美術の応用面に携わる事を望む人
- ・ 将来、作家として広く国内外で活躍したいと希望する人

油画専攻

- ・ 絵を描く事が好きで、自己表現に向けて努力できる人
- ・ 基礎的な技術を高め、知識を深めたい人

- ・国際的な美術の動きに興味を持っている人

彫刻専攻

- ・これからの彫刻に対して広く好奇心と探究心を持つ人
- ・表現活動の実現に向けて粘り強く取り組める人
- ・将来、芸術文化の世界で活躍する意志を持つ人

芸術学専攻

- ・複雑多様な現代社会における芸術に対して高い関心と問題意識を持つ人
- ・領域横断的な実技制作と論理的思考による視覚文化研究の双方に取り組める人
- ・世界への広い興味と好奇心を持ち、地域より成り立つ国際社会に貢献する意欲のある人

デザイン科

デザイン科は、専門分野における教育をより高度なものとした特色あるカリキュラムを編成しています。グローバル化や多様化の進む現代の社会において、デザインの世界を広く捉え、優れた専門性を発揮できる人材の育成を目指しています。

このことから、デザイン科では次のような人を求めます。

ホリスティックデザイン専攻

- ・あらゆる事や物に好奇心を持ち、思考を止めず、手を動かし続けることができる人
- ・人と関わることが好きで、多様な意見を柔軟に取り入れ、自分の答えを見出す人
- ・金沢のまちを学びの場として、デザインの力で世界をよりよくしたいと願う人

インダストリアルデザイン専攻

- ・自らの手で、ものづくりをすることが好きで基礎的な表現力を備えている人
- ・人や生活、プロダクトへの関心が高く、コミュニケーションに積極的な人
- ・デザイナーとしてグローバルに活躍することへの意欲を持っている人

工芸科

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。1年次の最終課題以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかのコースを選択し、各々の素材に関する多様な技術の修得、現代の社会的ニーズに適応した高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成を目指しています。

このことから、工芸科では次のような人を求めます。

- ・基礎的な表現力を有し、工芸に対し幅広く関心を持つ人
- ・素材、技法、表現に対して、柔軟な対応力を有する人
- ・将来、工芸を通して広く国内外で活躍したいと希望する人

3. 卒業後の資格

- (1) 本学を卒業する者には、学士（芸術）の学位が授与されます。
- (2) 教職に関する専門教育科目を履修し、美術科またはデザイン科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）が与えられます。また、教職に関する専門教育科目を履修し、工芸科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（工芸）が与えられます。
- (3) 博物館に関する専門教育科目を履修し、本学を卒業した者には、学芸員となる資格が与えられます。

4. 学部・学科・専攻及び入学定員・募集人員

学部・学科		専攻	入学定員	募集人員	
				一般選抜	学校推薦型 選抜
美術工芸学部	美術科	日本画	15	15	—
		油画	25	25	—
		彫刻	15	15	—
		芸術学	10	7	3
		小計	65	62	3
	デザイン科	ホリスティックデザイン	40	40	—
		インダストリアルデザイン	20	18	2
		小計	60	58	2
	工芸科		30	24	6
	合計		155	144	11

5. 一般選抜（公立大学中期日程）

（1）選考日程

学 科	専 攻	試験日程	最終合格発表
美 術 科	日 本 画	令和5年3月9日， 3月11日	令和5年3月20日
	油 画	令和5年3月10日， 3月11日	
	彫 刻	令和5年3月11日， 3月12日	
	芸 術 学	令和5年3月9日， 3月10日	
デザイン科	ホリスティック デザイン	令和5年3月13日， 3月14日	
	インダストリアル デザイン	令和5年3月13日， 3月14日	
工 芸 科		令和5年3月10日～3月12日	

（2）出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和5年度大学入学共通テストを受験した者とします。

- （1） 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- （2） 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- （3） 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個人の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格⑦により出願しようとする者は、事前に事務局に相談し、令和4年9月2日（必着）までに本学事務局に所定の書類を提出してください。

(3) 大学入学共通テスト

全専攻において、3教科3科目（理科の「基礎を付した科目」を選択する場合は4科目）の受験が必要です。なお、過年度成績を利用することはできません。

学 科	専 攻	区 分	教 科		科 目
美 術 科	日 本 画 油 画 彫 刻	必 修 2教科	国 語		「国語」
			外 国 語		「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
		デザイン科 ホリステック デザイン インダストリアル デザイン	選 択 1教科	地理歴史	
	公 民			「政治・経済」「倫理、政治・経済」 から1科目選択	
	数 学			①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目選択
				②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 から1科目選択 「簿記・会計」「情報関係基礎」
	理 科			①	「物理基礎」「化学基礎」 から2科目選択 「生物基礎」「地学基礎」
				②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目選択
工 芸 科					
美 術 科	芸 術 学	必 修 3教科	国 語		「国語」
			外 国 語		「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
			地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 から1科目選択 ※受験科目に注意してください。 ※2科目受験をする場合、上記6科目の中から第1解答科目 として1科目を選択し、受験してください。	

※外国語で英語を選択した者は必ずリスニングを受験してください。

リスニングを受験しなかった場合は失格とします（ただしリスニング免除者を除く。）。

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

(4) 実技検査等

学 科	専 攻	実技検査等	
美 術 科	日 本 画	実技試験Ⅰ（着彩描写）	
		実技試験Ⅱ（着彩写生及び面接）	
	油 画	実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）	
		作品提出（油彩又はアクリル）	
		面接	
	彫 刻	実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）	
		実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ）	
	芸 術 学	実技試験（鉛筆デッサン）及び小論文	
		ポートフォリオ	
		面接	
デザイン科	ホリスティック デザイン	実技試験	（デッサン）
			（色彩構成）
			（立体構成）
	インダストリアル デザイン	実技試験	（鉛筆デッサン）
			（色彩表現）
			（立体表現）
工 芸 科	実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン）		
	実技試験Ⅱ	（立体表現）	
		（色彩表現）	

※日本画専攻、彫刻専攻及び工芸科では、二段階選抜を行い、実技試験Ⅰの合格者のみ実技試験Ⅱを受験することができます。

※油画専攻、芸術学専攻、ホリスティックデザイン専攻及びインダストリアルデザイン専攻では、二段階選抜を行いません。全受験者がすべての試験を受験することとなります。

(5) 配点

学科・専攻		実技検査等	大学入学共通テスト							合 計
			国 語	外 国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	計	
美術科	日本画	実技試験Ⅰ 700点 実技試験Ⅱ 700点								
	油画	実 技 試 験 700点 作品提出・面接 700点	200 点	200 点	200 点 ※	200 点 ※	200 点 ※	200 点 ※	600 点	2000 点
	彫 刻	実技試験Ⅰ 700点 実技試験Ⅱ 700点 (塑造 500点 スケッチ 200点)								
	芸 術 学	実 技 試 験 250点 小 論 文 250点 ポートフォリオ 300点 面 接 300点	300 点	300 点	300 点 ※	—	—	—	900 点	2000 点
デザイン科	ホリスティック デザイン	実技試験 1400点 (デッサン 400点) (色彩構成 500点) (立体構成 500点)	200 点	200 点	200 点 ※	200 点 ※	200 点 ※	200 点 ※	600 点	2000 点
	インダストリアル デザイン	実技試験 1400点 (鉛筆デッサン 600点) (色彩表現 400点) (立体表現 400点)								
工 芸 科		実技試験Ⅰ 600点 実技試験Ⅱ 800点 (立体表現 400点 色彩表現 400点)	200 点	200 点	200 点 ※	200 点 ※	200 点 ※	200 点 ※	600 点	2000 点

注1 ※は選択科目を示し、選択科目の中から最高得点を得た1科目の成績を採用します。

ただし、地理歴史、公民及び理科（基礎を付した科目を選択する場合は2科目で1科目扱いとします。）において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を採用し、判定の対象とします。

注2 選択科目は、成績100点満点を200点満点（芸術学専攻は300点満点）に換算します。

注3 美術科芸術学専攻は、国語及び外国語（英語を除く）の成績200点満点を300点満点に換算します。

注4 外国語において、英語を受験した場合は、リーディング100点満点を160点満点（芸術学専攻は240点満点）に換算し、リスニング100点満点を40点満点（芸術学専攻は60点満点）に換算します。

ただし、リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点（芸術学専攻は300点満点）に換算します。

6. 学校推薦型選抜

(1) 出願要件

学科・専攻		出願要件
美術科	芸術学専攻	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降に卒業した者を含む。） (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和4年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、 学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 国語と外国語の成績が優れ、歴史や地理の学習に関心が強い者 (2) 現代思想・視覚文化の研究に興味があり、領域横断的な多形式表現の制作やキュレーションに挑戦する意欲のある者 (3) 学校長が、向学心、人物、能力、素質及び健康等について適性と認める者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は若干名とする。
デザイン科	インダストリアルデザイン専攻	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降に卒業した者を含む。） (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和4年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、 学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) デザイン・工芸・美術関係の分野において特に秀でている者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 志望する専攻分野について明確な問題意識を持ち、熱意を持って勉学しようと考えている者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は若干名とする。

学科・専攻	出願要件
工 芸 科	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校の卒業生及び令和5年3月卒業見込みの者 (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、 学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 工芸・美術・デザイン関係の分野において特に秀でている者 (2) 工芸に対して幅広く関心を持ち、熱意を持って勉学しようと考えている者 (3) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は若干名とする。

(2) 選考方法

学科・専攻	選考方法
美術科 芸術学専攻	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書、志望の動機書を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、ポートフォリオと面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、ポートフォリオを中心に、志望動機、入学後の学習計画等について口頭説明を求める。
デザイン科 インダストリアル デザイン専攻	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書等提出書類及び作品の写真を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、実技試験と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、提出作品、実技作品等について口頭説明を求める。
工 芸 科	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書等提出書類及び作品の写真を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、実技試験と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、提出作品、実技作品等について口頭説明を求める。

(3) 配点

学科・専攻	第1次選考	第2次選考	合計
美術科 芸術学専攻	200点	800点	1000点
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻	200点	800点	1000点
工 芸 科	500点	500点	1000点

7. 身体に障がいのある入学志願者との事前相談

身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）がある本学入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に事務局に相談し、出願前に事前相談申請書等を提出してください。
なお、事前相談は、次のとおりとします。

(1) 相談の時期

学校推薦型選抜：募集要項発表後から令和4年9月30日(金)まで

一 般 選 抜：募集要項発表後から令和4年12月16日(金)まで

(2) 相談の方法

事前相談申請書（本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る在籍（出身）学校関係者等との面接等を行います。

8. 学生募集要項の発表等

(1) 発表時期

令和5年度学生募集要項は、以下の時期に発表する予定です。

名 称	発表時期
令和5年度学生募集要項（学校推薦型選抜）	令和4年7月中旬
令和5年度学生募集要項（一般選抜）	令和4年10月中旬

(2) 確認方法

学校推薦型選抜及び一般選抜は、いずれもインターネットを利用した「Web出願」のみとなります。
学生募集要項は、本学ホームページからPDFファイルをダウンロードしてください。

※印刷物は制作していないため、資料請求はできません。

<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/admission/admission-info/>



9. その他

新型コロナウイルス感染症等の影響により、今後、本要項に記載している内容を変更する場合があります。最新情報は学生募集要項及び本学ホームページを確認してください。

金沢美術工芸大学のキャンパス移転について

金沢美術工芸大学では「開かれた美の探求と創造のコミュニティ」をメインコンセプトに、令和5年10月のキャンパス移転を計画し、工事に着手しています。

新キャンパスでは、大学の活動を発信する場となる「アートプロムナード」や、囲われた空間で創作に集中できる「創作の庭」を配置するほか、全ての学生が専門分野を越えて利用できる「共通工房」をリング状に配置するとともに、展示や合評を行うスペースとなる「アートcommons」を随所に配置することで、効率的な制作環境を構築し、学生相互が刺激しあえる空間を整備します。

また、隣接する用水沿いに遊歩道を整備し、キャンパス周辺の歩行環境の向上にも配慮する予定です。

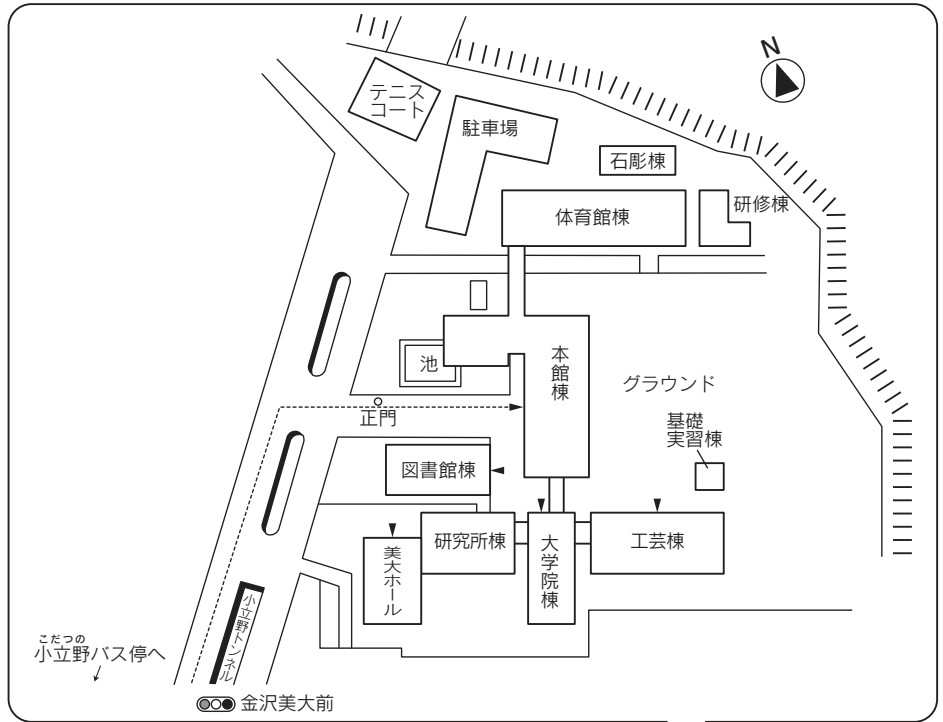


アートプロムナード：大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリート

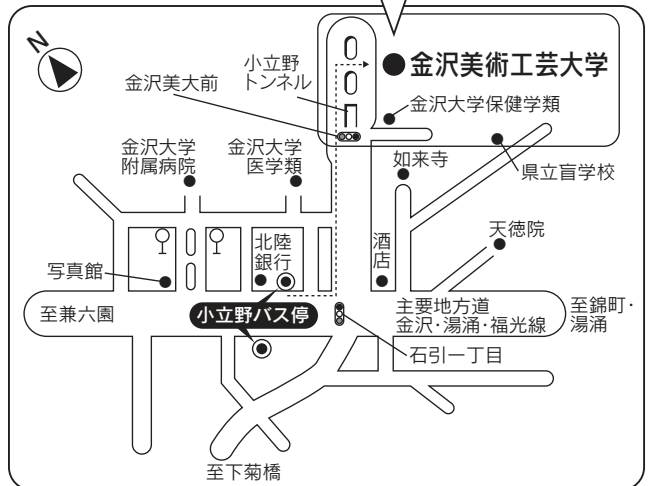


創作の庭：共通工房に囲われ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間

●キャンパスレイアウト



●交通アクセス



大学への交通

- 電 車／金沢駅下車
●バス／金沢駅兼六園口 バスターミナル6番のりば
①東部車庫行、①金沢学院大学行、
②湯涌温泉行、②北陸大学薬学部行、②北陸大学太陽が丘行、
⑥駒帰行（乗車約25分）
金沢駅兼六園口 バスターミナル7番のりば
⑬湯谷原行（乗車約25分）
金沢駅金沢港口 バスターミナル5番のりば
⑩東部車庫行、⑬湯谷原行（乗車約25分）
いずれのバスも「小立野（こだつの）」で下車してください。（徒歩約8分）
タクシー／金沢駅から約20分

- 自動車／北陸自動車道
金沢森本ICから約15分
金沢西ICから約25分
- 航空機／小松空港から
バス／リムジンバス（乗車約40分）
金沢駅下車
（乗り換え、兼六園・金沢港口
から電車の場合に同じ）



金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学

〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

5-11-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa
920-8656 Japan
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

